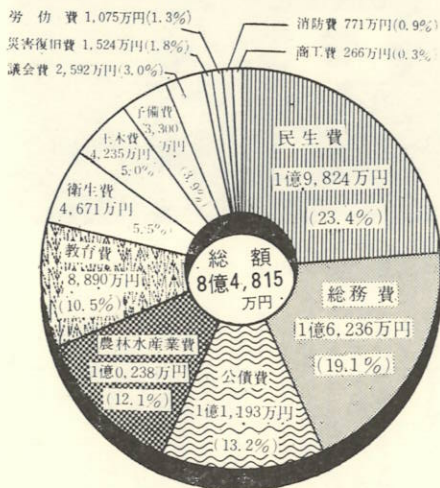


使われるお金の構成



谷間のない町づくりめざす

一般会計 8億4,815万円にきまる

「谷間のない町づくり」——をめざして、昭和五十年度の各会計予算がスタートしました。

これをみますと一般会計予算で八億四千八百五十五万、国民健康保険特別会計予算二億五千二百六十六万、水道事業会計予算二千四百一十一万、学校給食特別会計予算三千二百六十五万、公共用地先行取得事業特別会計予算二十四万、港湾整備事業特別会計予算六十二万、歯科診療所特別会計予算二百五十五万、墓地特別会計予算九百七十七万。

一般会計と七つの特別会計をあわせると、約十一億七千万円の予算が誕生。

ことしの一般会計予算は、補正予算で血、肉をつけることとした骨格型予算になっています。(昨年の当初予算に比べ約九千七百万円の減)

ここは、適格な計画の樹立と効率的な資金の適用とによつて町の地域開発と町民の福祉増進など、谷間のない町づくり、のため各種の施策がなされます。



発行所
愛媛県伊方町
伊方町長公室
編集所
町長公室
印刷所
尾上印刷所
八幡町天神通
電話 0991

全会計で十一億七千万円

「谷間のない町づくり」——をめざして、昭和五十年度の各会計予算がスタートしました。

これをみますと一般会計予算で八億四千八百五十五万、国民健康保険特別会計予算二億五千二百六十六万、水道事業会計予算二千四百一十一万、学校給食特別会計予算三千二百六十五万、公共用地先行取得事業特別会計予算二十四万、港湾整備事業特別会計予算六十二万、歯科診療所特別会計予算二百五十五万、墓地特別会計予算九百七十七万。

一般会計と七つの特別会計をあわせると、約十一億七千万円の予算が誕生。

ことしの一般会計予算は、補正予算で血、肉をつけることとした骨格型予算になっています。(昨年の当初予算に比べ約九千七百万円の減)

ここは、適格な計画の樹立と効率的な資金の適用とによつて町の地域開発と町民の福祉増進など、谷間のない町づくり、のため各種の施策がなされます。

一歳出

使われるお金の展望

● 議会関係 2,592万円 (3.0%)
前年より約540万円多く、18人の議員さんの報酬や手当1,892万円。議員さんの旅費56万円。その他議長交際費や議会事務局職員の給与や手当がおもなものです。

● 総務関係 1億6,236万円 (19.1%)
使われるお金の第2位にあたります。この総務費は職員の給与、手当が大きなウェートを占めているほか生活環境整備に100万円。交通安全対策に45万円。原子力発電所対策165万円。亀浦集会所設計委託料32万円。愛媛県議会議員、町長、町議会議員選挙に約250万円。区長さんの報酬がアップされ約125万円に、このほか区長研修費等が計上されています。

本年度実施される国勢調査、事業所基本調査、工業統計調査、学校基本調査、農業センサス事後調査の統計費に123万円が含まれています。

このほか、広報「伊方町」編集費もこの総務費に計上されています。

民生関係 1億9,824万円 (23.4%)

当初予算の中で使われるお金のトップは、この民生費です。主なものを拾ってみますと心身障害者家庭専任員賃金89万円重度心身障害者医療費に325万円。遺族会補助21.5%増の34万円。国民年金事務に518万円=永年続続の委員さんの表彰記念品が含まれています。ホームヘルパー(2人)の賃金172万円。老人クラブ助成金116万円。敬老会補助金104万円(1人当り800円に増額されました。)長寿祝金115万円(80歳以上のおとしより1人5,000円)金婚式(結婚後50年目を迎えた夫婦)の記念品も計上しており、7組のおしどり夫婦に記念品が贈られます。70歳以上のおとしよりの医療費の無料化による老人医療費が前年度より613万円多い2,669万円。はり、きゅう施術の費用40万円。町内7カ所の保育所運営費に1億0,084万

円(前年より3,280万円増加しています)児童手当に3,404万円(前年対比730万円増)

● 衛生関係 4,671万円 (5.5%)
保健婦、助産婦養成貸付金を1人分から2人分に増額しました。成人病、結核検診、寄生虫検診に77万円。胃、婦人ガン検診に110万円。年2回実施するカ、ハエ退治に214万円(薬剤を無料配付します)産前産後のお母さんと生後4カ月目からの赤ちゃんに9カ月間母子栄養食品(牛乳)を無料配達するのに267万円。助産所費828万円。環境保全対策として水質調査、農業危害防止対策事業を前年に引きつづき実施することとし244万円計上しています。若児の医療無料化による費用123万円。八西衛生事務組合負担金402万円。

● 労働関係 1,075万円 (1.3%)
前年より261万円多い1,075万円です。失業対策事業に必要な賃金、給与、手当、原材料費が主なものです。失業対策事業従事者は現在15人です。

● 農林水産業関係 1億0,238万円 (12.1%)
近代化、災害、農林漁業資金等の利子補給に1,950万円。仁田の浜細地総合整備事業に1,876万円。豊の浦農道舗装工事に200万円。農道開設に300万円。国土調査費が2,700万円。松くい虫対策として60万円。漁場改良造成事業として伊予灘に魚礁を設置する費用102万円。田の浦漁港物揚場新設工事940万円。

● 土木関係 4,235万円 (5.0%)
伊方宮内線舗装新設工事1,995万円。生活圏道路舗装新設及び補修に200万円。伊方宮内線改良267万円。

● 消防関係 771万円 (0.9%)
団員報酬、出勤手当とも引き上げがなされ予算額340万円になりました。団員等災害補償退職補償金組合負担金144万円。

● 災害復旧費 1,524万円 (1.8%)



仲よきことは美しきかな(4月から開所した川永田保育所入所式にて)

団員福祉共済制度負担金38万円。消火栓維持管理費負担金として85万円。

文化教育のまち 豊かな人間性を育てる

● 教育関係 8,890万円 (10.5%)
6つの小学校に要する管理費に1,717万円(前年にくらべ約700万円増)、小学校振興費612万円、このなかには修学旅行費として児童1人当り3,000円を町から助成することにしました。(前年1人当り2,000円)2つの中学校に要する管理費に829万円。(前年にくらべ約400万円の増となりました)中学校振興費860万円。主な内容は、修学旅行費として生徒1人当り6,000円を町から助成することにしました。(前年1人当り4,000円)。社会教育費887万円。青年学級、家庭教育学級、子ども少年団指導者養成講習会、成人式などの費用が含まれています。青年団への助成金23万円、婦人会の助成20万円、PTA補助金20万円と27%から33%、それぞれ増額されました。

公民館費415万円。青年学級、婦人学級、成人学級、中年婦人学級、婦人指導者講習会、公民館研究大会を開催する費用のほか、ことしから地区公民館学級を実施することとし6学級分を計上しています。図書館の蔵書目標を5年間で達成するため本年度1,000冊を購入する費用100万円を計上しています。公民館建設費120万円。新設なった二見公民館に会議用テーブルや椅子などの備品を購入します。保健体育費157万円。町民運動会経費を前年の36万円から45万円にアップしました。休協助成33万増の35万円に(前年18万円)学校給食センター費1,480万円。ことしから調理員賃金を月給制とし437万円を計上しています。

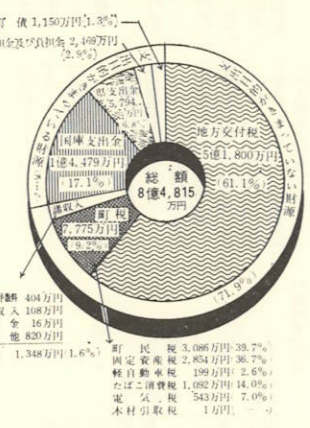
● 災害復旧費 1,524万円 (1.8%)

亀浦の防波堤災害復旧工事(継続分)を計上しています。

● 公債費 1億1,193万円 (13.2%)
この公債費は、町づくりのために町が国などから長期にわたって借りたお金をかえす費用です。償還元金5,427万円。償還利子5,766万円。

● 予備費 3,300万円 (3.9%)
本来の予備費100万円のほか、職員の給与改訂財源確保のため3,200万円が計上されています。

入ってくるお金



町税は全体の9%

入ってくるお金を円グラフを見ながら簡単にみてみると、町民のみなさんが納める町税は約9%の7,775万円です。その内訳は町民税3,086万円(39.7%)固定資産税2,854万円(36.7%)軽自動車税199万円(2.6%)たばこ消費税1,092万円(14.0%)電気料543万円(7.0%)木材引取税1万円(0.01%)。入ってくるお金の半分以上を占める地方交付税(61.1%)は、じつに5億1,800万円を計上、ついで国庫支出金1億4,479万円(17.1%)県支出金5,794万円(6.8%)となっています。また全体で支出目的がきまっている財源は28%、きまっていない財源は72%となっています。

町の花を「つわぶきの花」の黒松に制定

式典の席上、我が町のシンボルとして町の花を制定する「町の花、町の黒松」の制定式が、町民会館で開かれ、町民の代表者約二百五十人が参加した。

この町の花、町の黒松の制定にあたっては、二月に町内各家庭へ募集した。町民の代表者約二百五十人が参加した。

この町の花、町の黒松の制定にあたっては、二月に町内各家庭へ募集した。町民の代表者約二百五十人が参加した。

この町の花、町の黒松の制定にあたっては、二月に町内各家庭へ募集した。町民の代表者約二百五十人が参加した。

町長式辞

町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。

町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。

町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。

町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。



町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。

町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。

町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。

町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。

足跡をかえりみ

町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。

町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。

町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。

町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。

さらに発展を期す

町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。

町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。

町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。

町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。

町の花「つわぶきの花」

町の黒松

町の黒松は、町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。

町の黒松は、町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。

町の黒松は、町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。町民の代表者約二百五十人が参加した。



20年のうつりかわり

<h4>水道の給水世帯</h4> <p>(30年) 0世帯 (49年) 1,800世帯</p> <p>60年には部落帯であった 66年に町帯となる</p>	<h4>結婚</h4> <p>30年 83組 49年 60組</p>	<h4>農家の動き</h4> <p>30年 農家数2,134戸 (50年) 農家数1,319戸</p> <p>兼業 81%</p>
<h4>テレビの数</h4> <p>(30年) 0台 (49年) 1,985台</p> <p>60年には0台であった 82年3月31日現在で 1台入っている</p>	<h4>離婚</h4> <p>30年 9組 49年 6組</p>	<h4>人口</h4> <p>30年 13,188人 (50年3月31日) 9,016人</p>
<h4>電話の数</h4> <p>(30年) 36台 (49年) 1,679台</p>	<h4>死亡</h4> <p>30年 148人 49年 87人</p>	<h4>世帯数</h4> <p>30年 2,653戸 (50年3月31日) 2,497戸</p>
<h4>決算(一般会計)</h4> <p>30年 1億1,086万円 (49年) 11億0,504万円</p>	<h4>先生・生徒の数</h4> <p>30年 先生 95人 生徒 3,076人 (50年) 先生 92人 生徒 1,554人</p>	<h4>出産</h4> <p>30年 325人 (49年) 131人</p>

第二十五回自醸酒品評会 根来さん

二度目の優等一位



町長、組合長に囲まれ喜びの入賞者

西守和郎氏組合主催の第二十回自醸酒品評会が四月十六日から十八日まで三日間中央公民館で開催されました。この自醸酒品評会は、これまで二十五回にわたり、古い伝統を、花の玉宗(徳島県)が二度目の優等一位の栄冠に輝きました。また、寺谷隆義氏(徳島県)が二度目の優等一位の新酒を手にし、日本酒特有の「味」「香」「口」を誇るもので、由品された新酒は、酒銘を明らかにせず、すべて番号で処理されます。

住宅資金

受付けはじまる

昭和五十年年度、収入金額の住宅金融公庫の住宅資金を希望される方は、貸付の受付がはじまりました。住宅資金を希望される方は、貸付の受付がはじまりました。住宅資金を希望される方は、貸付の受付がはじまりました。

構造	耐火	耐火	耐火
中込区分	一般	中込	着者
木造	440	560	320
耐火	490	400	360
耐火	540	440	400

一、個人住宅
二、受付期間
昭和五十年四月二十八日(月)から融資予定(八万八千円)に達するまで。
三、受付場所
住宅金融公庫兼取扱店と表示した金融機関
伊予銀行伊方支店、伊方町農協
四、貸付対象者
自分らが住むための住宅を必要とし、土地の準備ができています。

行政相談員に
渡辺さん
行政相談員がつかうのは、国の業務の仕事をし、国鉄、電々会社、専売公社、公庫、事業団などのように、国から特別の監督を受けている法人の仕事。県や町などの仕事のうちから任せられている仕事についての苦情です。
このういはいは、役所の仕事について、ネバネバやってもええない。不親切なやつかいを言いた。助けてよ。
どうしてよいかかわらない。
どうして申し出てくた
直接口頭でできることをおすすめしますが、簡単なものは紙でも電話でも結構です。
お電話にご相談ください。

事業所統計調査
五月十五日から全国いっせいに事業所統計調査が行なわれます。この調査は、三年に一度国が実施する統計調査、全国の実情を把握する統計調査、全国の事業所を調査する調査です。
調査は、事業の内容や従業員数などを調べ、事業所の関係調査ともいえることも基本的な調査です。
事業所経営のみならず、この調査の重要性をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

「このほり」の季節がやってきた。このほりの元気な成長を祝う。このほりの季節がやってきた。このほりの元気な成長を祝う。このほりの季節がやってきた。このほりの元気な成長を祝う。

「このほり」による
感電事故(防止しよう)
このほりをたてるときは、このほりに注意してください。
このほりのときは、鉄パイプなど金属製のものは、よく乾いた竹、木などのものを選び、このほりや吸き流しが電線に巻きついたりしないよう、電線からなるべく離れたところへたてよう。
このほりをたてる場所付近に電線があるときは、四国電力伊方営業店へご相談ください。
このほり、吹き流しなどが電線に巻きついたり、ささが電線に刺れかかったときは危険なため絶対手を触れないようにし、すぐに四国電力伊方営業店へ連絡してください。
(電話八〇〇七)

「このほり」による
感電事故(防止しよう)
このほりをたてるときは、このほりに注意してください。
このほりのときは、鉄パイプなど金属製のものは、よく乾いた竹、木などのものを選び、このほりや吸き流しが電線に巻きついたりしないよう、電線からなるべく離れたところへたてよう。
このほりをたてる場所付近に電線があるときは、四国電力伊方営業店へご相談ください。
このほり、吹き流しなどが電線に巻きついたり、ささが電線に刺れかかったときは危険なため絶対手を触れないようにし、すぐに四国電力伊方営業店へ連絡してください。
(電話八〇〇七)

「このほり」による
感電事故(防止しよう)
このほりをたてるときは、このほりに注意してください。
このほりのときは、鉄パイプなど金属製のものは、よく乾いた竹、木などのものを選び、このほりや吸き流しが電線に巻きついたりしないよう、電線からなるべく離れたところへたてよう。
このほりをたてる場所付近に電線があるときは、四国電力伊方営業店へご相談ください。
このほり、吹き流しなどが電線に巻きついたり、ささが電線に刺れかかったときは危険なため絶対手を触れないようにし、すぐに四国電力伊方営業店へ連絡してください。
(電話八〇〇七)

人口	9,016人	(男4,314人(6人))	(女4,702人(17人))
現在	3月	2,497戸(+13戸)	
昭和50年			

えんむすび
昭和50年2月1日
2月28日
氏名 名 華 式 本 籍

お誕生
おめでと
昭和50年2月1日
2月28日

えんむすび
昭和50年3月1日
3月31日

お誕生
おめでと
昭和50年3月1日
3月31日

お誕生
おめでと
昭和50年3月1日
3月31日

お誕生
おめでと
昭和50年3月1日
3月31日

お誕生
おめでと
昭和50年3月1日
3月31日

お誕生
おめでと
昭和50年3月1日
3月31日